

おおぞら 議会だより

CONTENTS

6月定例会、臨時会を開催	2
議員7名が一般質問	4
①上地議員 公務員の副業解禁について ほか	
②鈴木議員 地域の特徴を活かした子育て政策の充実について	
③森賀議員 ゼロカーボンシティ宣言について	
④岩原議員 女満別地区の中心市街地における地域活性化施策について ほか	
⑤福田議員 今後の畑地かんがい事業について	
⑥後藤議員 各種事業開発・整備構想に係る町有地及び民有地について	
⑦大泉議員 農業委員会の活動について	
所管事務調査を実施	14



年長さん 上手にできたよ


No. 73

OZORA
GIKAI DAYORI
[発行日]
令和6年(2024年)8月30日

大空に
人花心
育むまち



令和6年 6月定例会 6月20日~21日

一般会計予算は 1億1,603万円を追加補正し、 総額94億2,810万円に 補正予算、物品の購入、工事請負契約、条例改正などを審議



外構工事中の役場庁舎

役場庁舎大規模改修事業、大空高等学校交流拠点施設整備事業について、令和5年度の残額2,907万9,000円を令和6年度へ繰り越した報告がありました。

継続費繰越計算書の報告

「刑事訴訟法の再審規定（再審法）の改正を求める要望意見書」「厳しい農業情勢を打開する改正基本法と関連法案を求める要望意見書」「ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実・強化を求める要望意見書」について可決しました。

要望意見書

繰越明許費繰越計算書の報告

戸籍住民基本台帳管理事業など4事業が年度内に完了しないため、5,513万6,000円を令和6年度へ繰り越した報告がありました。

法人の経営状況報告

めまんべつ産業開発公社、東藻琴芝桜公園管理公社の経営状況について報告がありました。



東藻琴芝桜公園

例月出納検査報告

2月から4月までの現金の出納状況および基金の状況について、検査結果の報告がありました。

補正予算

一般会計、国民健康保険事業特別会計、簡易水道事業会計の補正予算について審議し、可決しました。

補正予算（歳出）の主な内訳

事業名	補正額
定額減税補足給付金	5,500万円
児童手当扶助	1,846万円
予防接種委託料	1,621万円
旧女満別高等学校寄宿舎解体工事	990万円

高校園場農作業機具処分業務委託料

後藤議員

高校園場農作業機具処分業務委託料、処分運搬のため57万2,000円ということだが、業者に57万2,000円で処分をしていただき、歳入の不用物品売却代として5万円を見積もっているということではないか。

生涯学習

旧東藻琴高校生産科学科の園場として第1、第3圃場は大空高校の教育財産として保有していましたが、カリキュラム上今後当該園場の使用予定がないことから、本年5月17日付けをもって教育財産から普通財産へ所管替えを行ったところ。

第1圃場のD型ハウス内に保存している農機具等については、現在トラクター、ロータリー、収穫をした農産物の洗浄機等、当時旧東藻琴高校で使用していたものを保管していますが、故障や老朽化しています。一部5月17日付で普通財産に所管替えをしたところですが、それ以外の故障、老朽化した農機具については廃棄ということでは計上しています。

なお、雑品として引受け、引取り可能な農機具等については、物品売却収入として5万円を計上していますが、ほとんどは処分をしなければならぬということで見積もっています。

YouTubeのQRコードはこちら



令和6年 5月臨時会 5月24日

一般会計予算に 1,776万円追加補正

補正予算、物品の購入、条例改正などを審議



遊具を撤去した女満別湖畔

経年劣化により遊具の撤去工事を行うため、大空町女満別湖畔公園条例の一部改正について可決しました。

条例の一部改正



更新予定の塵芥収集車

塵芥収集車、フォークリフト、除雪トラック、除雪ドーザ、スクールバスを購入することについて、可決しました。

物品の購入



大空高校第1圃場

農業委員会委員の任命
長尾照幸氏の任命に同意しました。

物品の購入



水道メーター器

水道メーター器（更新用）を購入することについて、可決しました。

工事請負契約の締結

橋梁補修工事（豊郷橋）の契約締結について、可決しました。



補修工事を行う豊郷橋

条例の一部改正

大空町鳥獣被害対策実施部隊の設置に関する条例について、可決しました。

問

3年連続して狩猟登録をしていた人から、1年ということを経験が不足している。ベ

補正予算

令和5年度一般会計、令和6年度一般会計の補正予算について審議し、可決しました。

リサイクルセンター管理運営費
鈴木議員

問

プラスチック・ペットボトル減容機の修繕について、ごみの収集の関係で急を要するため、即対応することになっているが、完了の予定について伺う。

住民課長

部品については6月中旬頃に入ってくる予定です。部品交換後、通常業務に入ります。



プラスチック・ペットボトル減容機

議会の傍聴はお気軽に！

- ◆定例町議会は、年4回（3月・6月・9月・12月）開かれます。お気軽に傍聴においでください。
- ◆YouTubeを活用し、本会議のインターネット中継を行っています。パソコン、スマートフォン等でご覧いただけます。

9月定例会は、
9月17日(火)から
開かれる予定です。



障害者差別解消法の取り組みについて

合理的配慮の理解が進んでいない

町長▶ 広報やイベントを通じて周知を図りたい

町長 障害者差別解消法の取り組みについて、行政機関や事業者がその事務または事業を行うに当たり、障がいを持つ者として、不当な理由のない差別的取扱いをすることを禁止しています。また、個々の場面で障がい者から社会的なバリアを取り除いてほしい旨の意思の表明があつ

問 障害者差別解消法は、障害者基本法が定める、差別禁止の基本理念を具体化するものです。障がいを理由とする差別的解消の推進に関する基本的な事項や、行政機関等及び民間事業者における障がいを理由とする差別的解消するための措置等を定めることにより、障がいを理由とする差別的解消の推進も、全ての国民が障がいの有無によつて分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら、共生する社会の実現に資することを目的としています。我が町の取り組みはどのようになっているのか伺う。

問 この法律の合理的配慮は国、地方自治体は義務であり、今年4月から民間事業所も義務となりましたが、なかなか理解が深まっていないのが問題だと思っています。一つ対応を間違つたと大変な問題になりま

た場合には、その実施に伴う負担が過重でない場合には、社会的なバリアを取り除くために必要かつ合理的な配慮を講ずることが義務づけられています。なお、事業者のみ合理的配慮の提供がそれまで努力義務でしたが、令和6年4月1日から義務化されたところです。法律の第3条では、国及び地方公共団体の責務が定められており、相互に役割分担を行い、協力、連携して障がいを理由とする差別的解消に必要な施策を実施することとされていますので、本町としては周知、啓発に対して協力するにとどまっています。

町長 合理的配慮の町内の周知で

町長 行政として職員に対して研修等しているかということですが、実際に合理的配慮をするような研修は行ってはいないというのが現状です。法律の理解というのが、国民全体に広まっていくなか、この差別的解消につながっていくものだと思いますので、みんなで支えるという意識になるようなことを検討したいと考えています。



ふれあい広場 車いす体験

ですが、町も実は事業者と同じレベルで、合理的配慮というものを実施していかなければならないという立場です。また事業者への周知については、全戸に周知できる広報誌等への掲載など、そういったものを通じて広く広報する。媒体はそれぞれ経済産業省を通じて色々資料等がありますので、そういったものを活用しながら周知に努めてまいりたいと考えています。町民が広く集うイベント、そういった機会をとらえて様々な手法で周知等を図りたいと考えています。



合理的配慮の提供例

- ・車いす利用者のために段差に携帯スロープを渡す
- ・高い所に陳列された商品を取って渡すなど物理的環境への配慮を行う
- ・筆談、読み上げ、手話などによるコミュニケーション、わかりやすい表現を使って説明するなど意思疎通の配慮を行う
- ・障害の特性に応じた休憩時間の調整などルール・慣行の柔軟な変更を行う

障害者差別解消法



公務員の副業解禁について

う え ち ふ み た か
上地 史隆 議員



▶ 上地議員の一般質問がYouTubeで視聴できます。(17分10秒から)

人口減社会で担い手が不足する中、職員の力も借りて難局を乗り越えることが出来たらと思います。

職員の副業を早急に解禁するべき

町長▶ 副業解禁の基準を早急に定めたい

問 役場職員は、地方公務員法第38条の規定により、原則、任命権者の許可を受けなければ、副業をすることが出来ないように制限がされています。近年、国や民間においても働き方改革が推進され、全国の自治体でも、地域貢献を通じた副業に関する基準を明確化する動きが活発化しています。我が町の現状の取り組みはどのようになっているのか伺う。

町長 職員の副業について、地方公務員の営利企業等への従事については、地方公務員法第38条において、原則、営利目的とする企業等への従事が禁止されているところですが、公務の能率、公務の公正、職員の品位保持等が確保される限りにおいて、任命権者の許可を受けることで、従事等が許可されるものです。このことから総務省は、

地方公務員の社会貢献活動が積極的に行われるよう、地方公共団体における営利企業等への従事に関する先進的な取組事例等について実態調査し、その取りまとめ結果を踏まえ、従事許可の公平性を確保する観点から、地方公共団体において詳細かつ具体的な許可基準の設定や公表など、社会貢献活動を希望する職員が躊躇なく許可申請を行えるような環境整備を進めていくよう通知があったところです。

少子高齢化等により、今後ますます地域活動等を担う人材の不足が懸念され、その人材確保の手法として、職員の社会貢献活動は重要であるものと認識しています。副業の解禁により、職員が公務以外での活躍の機会を得ることは、職員自身のキャリア形成に資するとともに、職員が持つ知識やスキルを様々な場に提

総務課長 職員の従事許可件数等については、令和5年度では、消防団従事2件、有害鳥獣駆除従事1件、女満別中学校運営協議会1件、大空町小中一貫教育検討委員会1件、ファミリースポーツ従事1件、合計6件となっています。

問 営利的なものは原則副業が難しいのが実情であり、公務員が三大原則として、地方公務員法第33条信用失墜行為の禁止、第34条秘密保持の義務、第35条職務専念の義務もあるため、私としては、基準を早期に定めていただきたい。現場に入つて知ることあり、職員のスキルアップ、気分転換にも繋がるので、地域貢献については、しっかりと基準を定めて今後進めていただきたい。

町長 地域、社会貢献活動や、教育、福祉活動等を行う公共的団体やまちづくりにかかせないものと考えています。職員が活動しやすくなると考えられますので、早



消防団に従事する職員

急に副業基準を定めて、職員に周知して積極的に地域に出ていただければと考えています。定められた際には、議会にも協議させていただきます。



ゼロカーボンシティ宣言について

もりか ゆうじ
森賀 祐司 議員



森賀議員の一般質問がYouTubeで視聴できます。(1時間25分00秒から)

豊かな自然や農地を多く抱える大空町では、独自の取組ができるのではないか

町長 令和6年第1回大空町議会定例会においてゼロカーボンシティ宣言を行いました。町民、事業者、行政の社会的責務として、大空町から排出される温室効果ガスの抑制と、再生可能エネルギー導入目標や、省エネルギー推進の施策を定め、目標を達成するための具体的な大空町地球温暖化対策実行計画区域施策編を本年度策定します。公募型プロポーザルにより、大空町とともに計画策定する事業者の提案を受け付けており、6月下旬企画提案の審査を行い、業務受託先候補者を決定します。

問 具体的な実行計画を令和6年度中に策定することですが、農地や森林を太陽光発電所に変えるような計画は本末転倒になるのでは。再生可能エネルギーのみに頼った計画にはすべきではない。

町長 令和6年度に大空町地球温暖化対策実行計画、区域施策編策定支援業務委託契約を締結する予定です。なお実行計画の策定検討に際し、ゼロカーボン推進会議の設置や町民とのワークショップ等を経て策定していきたいと考えています。

問 欧米ではフォーパーミルイニシアチブの考え方に基づき、農地の炭素貯留を政策的に推進しており、農業が基幹産業の大空町としても農協など関係機関と共同して、国や道に農地の炭素貯留に対するインセンティブを引き出せるような働きかけをしていく必要があるのでは。

町長 大空町の主要産業である一次産業へのカーボンニュートラルを推進するためのインセンティブは、本実行計画の策定を契機に検討する事項であると考えています。国や北海道、大空町内の一次産業の各主体、農協や生産者、企業が丸となり、それぞれの立場で地球温暖化の影響を抑え、気候変動の緩和や環境保護の推進につながるカーボンニュートラルの実現を目指す必要があります。温室効果ガス削減評価の難しさ等から、脱炭素化の取組が難しい一次産業分野において、生産者等が温室効果ガス削減技術に取り組みメリットとして、投資の呼び込み、販路の拡充、商品の差別化高付加価値化につながるなど制度の構築が進むことを期待するものです。

町長 大空町では、森林環境譲与税を財源として造林等の事業を行った場合に最終的な所有者負担割合については、事業費の0・6%程度となつており、補助として十分であると認識しており、現段階において拡充の考えは持っておりません。

町長 2050年までにカーボンニュートラルを実現することは、大空町や日本だけでなく、世界的に目指している目標であると考えています。大空町として何をできるかを区域施策編という中でつくり上げていきたいと思っております。町民皆が同じ意識で継続してゆくとともに、策定に当たっては、町民の皆さんや事業者、議員の皆様方からも、忌憚のないご意見を頂戴したいと思っております。

問 手入れされた森林はCO2の吸収源になることは知られているが、森林整備に対しての補助拡充や、所有者への啓発が必要ではないか。

町長 町民、事業者、行政一体となつて進めていかなければならない事ですので、3者の議論、意見交換を進めていただきたいと思います。

町長 2050年までにカーボンニュートラルを実現することは、大空町や日本だけでなく、世界的に目指している目標であると考えています。大空町として何をできるかを区域施策編という中でつくり上げていきたいと思っております。町民皆が同じ意識で継続してゆくとともに、策定に当たっては、町民の皆さんや事業者、議員の皆様方からも、忌憚のないご意見を頂戴したいと思っております。



地域の特徴を活かした子育て政策の充実について

すずき ひでゆき
鈴木 秀之 議員



鈴木議員の一般質問がYouTubeで視聴できます。(38分34秒から)

これからも我が町の現状と発展性・可能性・魅力を再確認し、未来につながるまちづくりを目指したいと思います。

町長 本町の合計特殊出生率は1・50と全国平均1・20や、北海道平均1・06より高く、オホーツク管内で4番目、北海道内では15番目となっております。

町長 子育て環境を充実させて、子育て世代の移住、定住を促進してきたこと、子育て期にかかる様々な負担を関連施策や地域の協力などで応援し、大空町

町長 子育てのしやすさ、住環境の充実、利便性の向上や住みよさの満足度などで評価される施策を今後も展開したいと考えています。

町長 自治体の維持、存続は、最低限の人口設定がされているものではありません。

町長 子育てのしやすさ、住環境の充実、利便性の向上や住みよさの満足度などで評価される施策を今後も展開したいと考えています。



認定こども園ひがしもこと運動会

町長 今後検討すべき施策の一つと考えます。認定こども園ひがしもことの園児数が、1学年毎に1桁台の前半で、園児の日々の活動にも影響し、事業者である大空町社会福祉協議会にとっても、経営面で大きな問題であると認識しています。

町長 国は、親の就労に関係なく子供を預けられる「こども誰でも通園制度」を令和8年度から全国で展開するとして

町長 認定こども園での実施を想定し、どのような保育提供体制を整備していくのか。町独自の支援基準での事業展開も検討していく必要があると思う。今後、どのような視点で準備を進めるのか伺う。

町長 地域の実情というのを正しく理解してもらおう。今後も強く国に働きかけていきます。課題は、保育士の確保です。社会福祉協議会と連携し、保育士を確保した上で、現在、取り組んでいる一時預かり事業との関連も精査していく必要があります。

町長 現在提示されているのは、6か月から3歳未満のお子さんを対象として月10時間保育受入とする利用上限があります。今後、地域の実情に即し、使いやすくなるようであれば、保護者への子育て支援として取り組みたいと考えています。

町長 一人の女性が生涯に産む子供の人数を推計した人数で、15~49歳の女性の年齢別出生率を合計して算出。

町長 保育園の一時預かり制度を活用し、園に在籍していないお子さんでも施設の空き状況により利用回数や利用時間の範囲内で保育受入をする制度。家族での移住・自然体験活動等と組み合わせ実施されている。

町長 詳しくは、QRコード

町長 詳しくは、QRコード

一口メモ
○合計特殊出生率 一人の女性が生涯に産む子供の人数を推計した人数で、15~49歳の女性の年齢別出生率を合計して算出。
○保育園留學制度 保育園の一時預かり制度を活用し、園に在籍していないお子さんでも施設の空き状況により利用回数や利用時間の範囲内で保育受入をする制度。家族での移住・自然体験活動等と組み合わせ実施されている。
○こども誰でも通園制度 詳しくは、QRコード



問 高規格が通ってから町や村が疲弊し、コンビニは町民の方しか来ない現状があると聞いている。量販店が出来てまちの魅力に繋がりにくい人たちが定住している。

町長 北海道横断自動車道が延伸されることで、人の流れが失われるのではという町民の不安の声は、私も耳にしています。本年度から、今後のまちづくりの方向性を示す第三次大空町総合計画の策定に向けた検討を開始しますので、議論を重ね、大空町の将来像とともにビジョンを描きたいと考えています。

町長 移住定住施策について、定住人口の維持、拡大を図ることを目的とした大空町定住促進助成金を活用し、定住に向けた支援を実施しています。より身近に感じている定住先として大空町を選んだだけ取組も推進しています。

問 国から示された女満別空港から網走への高規格道路整備計画について、中心市街地の商業関係への影響に対し、町はどのような施策を考えているか伺う。

最終的な基本構想策定は、各審議会委員や町民意見を踏まえ、教育委員会会議において議論し、議員各位の意見を賜ります。

町長 大空町が他と違うのは空港があります。いかに町なかの空港線や、国道39号を走らせるかになると思います。大空町にしかない、ここぞしか食べられない、そんな仕掛けが必要です。ただ間違いなく減ることは確かであると思います。今後、しっかりと総合計画やまちづくり計画、まちづくり等の中で考え、対策を講じてまいりたい。

町長 人の流れの影響についての対策を伺う。

問 中心市街地づくりには、新規事業者の参入が欠かせない。移住・定住者も含めた具体的な施策があるか伺う。

町長 平成14年に中心市街地活性化基本計画を、西通りを中心に計画しましたが、結果的に商業者から出来ないとの判断でした。その中で、人を集めたいということ、網走信用金庫の跡地を寄附頂いて、社会福祉協議会にその場所に移って頂きました。しかしそれをもって賑わいを創出できるものではないと感じています。演芸や、冬の焼肉祭りなど、ソフト事業を組合せながら、中心市街地の賑わいを確保し、高めたいと考えます。今後経営者の高齢化を迎え、事業の継承が課題です。新しい商店街の活性化を検討します。

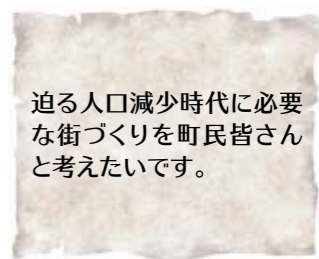


女満別地区の中心市街地における地域活性化施策について

いわはら 繁 議員



岩原議員の一般質問がYouTubeで視聴できます。(1時間48分55秒から)



賑わいのある街づくりに必要なものは 町長▶新しくできる研修会館機能を活用したい

DXを進めるため電子化は当然だと思ふ。WiFi環境整備など、商店街にお客さんが来ていただく方法が求められている。ハードの部分の整備について伺う。

問 女満別地区の中心市街地活性化施策について伺う。

町長 起業に際して必要な事業拠点経費や宣伝広告経費に対して、補助金を交付する大空町起業化支援事業補助金、また、事業所を新設、増設する企業に対して、固定資産税相当額を補助金として交付する大空町企業振興促進条例などを活用し、地域経済及び産業の活性化を図ります。空き家店舗については、大空町空き家等情報登録制度を活用し、空き家等の有効利用を通して定住促進や地域の活性化を図っています。空き店舗等の利活用を含め、事業継承や新規創業などの課題もあり、関係団体と連携して、支援事業に取り組んでまいりたい。

町長 研修会館の建替えは明るくて広目なロビーの中で、WiFi環境が整っていて、パソコンで作業やテレビ会議ができるように検討できればと考えています。後継施設として、サークル活動等で使ってもらい、町民の方々の施設であると考えています。今は建物にどのような機能を持たせるかという話でしか進んでいません。ゲートボールセンターの横の駐車場は昔から盆踊りや、賑わいの創出の場でもあり、新しい施設は全体を考えたとき同じようなことができるよう考えたいと思っております。色々の意見を検討し、最終的に判断をして皆様方と協議をさせて頂ければと思います。

町長 公共施設のWiFi整備ですが、研修会館の後継施設には、必要であると思っております。ポイントカード機が老朽化し、更新の時期を迎える中、今年度から進めるDXの中で上手くできるものがあれば、中心市街地の活性化に繋がる施策も考えてまいりたい。

警長 大空町社会教育施設基本構想について、町民で組織した策定委員会も素案協議や道内先進地の視察を行い、精力的に協議を重ねました。基本構想の素案において、町民アンケートを実施し、1月に町民説明会を開催。さらに、ふれあいトークの全ての会場で、町民の皆様から様々な意見を伺いました。こうした経過を経て策定委員会において、社会教育施設基本構想の素案をまとめたところです。研修会館は、街の拠点施設となるため、町民の皆様から意見を聞き、将来を見据えた協議を進めることが重要です。

問 昨年12月に、道道福住女満別線、西通商店街の歩道を両側舗

問 研修会館改修計画の中でコワーキング

問 WiFiの設置は、ポイントカード会

問 研修会館を核として活性化を図る上で、基本構想を進めているが、進捗状況を伺う。

町長 研修会館に関する社会教育施設基本構想は、今年度も継続的に教育委員会で協議しています。昨年度から町民で組織する基本構想策定委員会を中心に素案を作成し、現在社会教育や各委員等から素案の内容について意見を聞いています。

本町のライドシェアの取り組み状況について 自家用車活用事業による交通弱者への検討は 町長▶町民の移動不安やニーズにより取り組みたい

町長 本町は、ライドシェアに関する情報はあるものの、制度理解や一般乗客旅客自動車運送事業者、いわゆるハイヤーやタクシードライバーの人口減少に伴う事業影響、採算性、担い手確保、安全性、夜間などの運送体制や、ライドシェアに関して認識を共有出来ていないため、理解が不十分であると回答しました。

現在大空町では、高齢者運転免許自主返納支援、高齢者等移動支援、患者輸送バス運行、福祉有償運送、地域間バス等の移動支援対策を講じています。第三次大空町総合計画、総合戦略、DX戦略等の検討を進めている。今を新たな契機と捉え、町民皆様の移動に関する不安やニーズに耳を傾け、関係機関と連携して大空町として取り組む方向性を考えてまいります。

町長 日本版ライドシェアが4月から始まり、道内の自治体で関心が高まっているが、本町における取り組み状況について伺う。

町長 本町の交通弱者に対する施策を実施していますが、福祉タクシー券の制度は対象となる方の生活に欠かせないものと認識をしています。この福祉タクシー券の事業は、対象者が75歳以上の高齢者や重度心身障がい者としていますが、要支援及び要介護者も対象とするよう令和6年度に拡大するとともに、これまで複雑で不便とされていた利用方法も一部改善しています。



地域間バス

町長 本町の交通弱者に対する施策を実施していますが、福祉タクシー券の制度は対象となる方の生活に欠かせないものと認識をしています。この福祉タクシー券の事業は、対象者が75歳以上の高齢者や重度心身障がい者としていますが、要支援及び要介護者も対象とするよう令和6年度に拡大するとともに、これまで複雑で不便とされていた利用方法も一部改善しています。

町長 利用者は、町は一生懸命やってくれている。しかし足りないもので乗合タクシー的なので病院通いが出来ないか、あるいは公共交通機関を使って行く病院に間に合ったり間に合わなかったり、帰りの時間帯が合わなかったり、1日潰れてしまうこともある。ライドシェア乗り合いタクシー、乗り合い事業を大空町独自で実施できないか伺う。

運転免許若くして返納された方は、車もなくて移動が大変です。今後可能であれば、今の年齢基準に満たない方で、どうしてもの都合等で免許を返納しなければならなくなった方に対しては、同じように福祉タクシー券を交付するなど、今後検討していくことができればいいかと思っております。



各種事業開発・整備構想に係る町有地及び民有地について

ごとう しのぶ 後藤 忍 議員



後藤議員の一般質問がYouTubeで視聴できます。

開発及び整備の構想が予定されている町は、有益なビジョンを備えておく必要があります

町長 平成29年度に「大空町町有土地利用計画」を策定し、計画の趣旨、基本的な考え方、町有地の現況や課題等、利用及び土地取得に関する方針を定めています。町有地の有効な活用の方針については、周辺土地の環境を踏まえて、公共利用や売却、貸付けを検討するとともに、地域活性化を図るために企業等の民間活力の活用など、他用途での土地利用を考慮することとしています。また、住宅用地として利用することが適してい

問 町では今後、一般廃棄物広域中間処理施設の建設及び北海道横断自動車道女満別空港網走道路も計画されており、関係する町有地の活用やビジョン及び民有地企業跡地への町としての関わり方を早期に示していく必要があると考えますが、町有地の有効な活用の考え方について伺う。

町有地を有効に活用していただきたい

町長 戦略的なビジョンを持って進めていく

問 町有地は、定住対策用地として処分を検討し、現状で積極的な活用がない土地については、継続して所有することとしています。

問 女満別眺湖台3丁目、旧女満別中学校用地及び隣接する民有地旧女満別食品跡地の現状と課題について伺う。

まちづくり推進室長 眺湖台の住宅街東側にあります旧女満別食品工場について、昭和48年女満別中学校の移転新築に伴い、旧校舎跡地がフタバ食品株式会社へ売却され、食品工場として稼働し、30年後の平成15年2月に工場の生産活動が中止となり閉鎖となっております。

工場閉鎖後、町内の農業グループなどが施設の一部を借受け、生産物の貯蔵場所として現在も利用されています。この用地については、様々な企業などと新規事業



女満別眺湖台の町有地

問 東藻琴末広628番地の1、東藻琴末広628番地の46、東藻琴末広628番地の49の現状について伺う。

総合支所長 東藻琴末広628番地の1は、平成9年から現在まで、網走交通株式会社と賃貸借契約を結び貸付けを行っています。東藻琴末広628番地の46は、白かば台

業の展開における候補地として紹介するなどしていますが、進出に向けた具体的な事業には至っていません。

総合支所長 賃貸借の契約内容については、町有地の面積11万5,955平米のうち、6万8,558平米を貸付け、年額8万2,269円を貸付料として納入いただいています。貸付けについては、火山灰採取及びこれに必要とする附属工作物の設置用地を条件としています。現状としては、生成された火山灰置場、作業通路として土地を貸しています。

また、平成13年度より同事業者と、貸付地において生成された火山灰については、町が道路維持事業などに無償で使用できるものとして経費削減を行っています。

問 町有地については、各種事業開発及び整備の構想が、町にとって有益なものとなるよう早期にビジョンを示すために備えていただきたい。



東藻琴末広（火山灰採取用地）

町長 様々な事業に関連する町有地の有効活用について、先を見据えた戦略的なビジョンを持つて進めていかなければならないと考えています。町有地は、町民が共有する貴重な財産であるということ念頭に置き、今後のまちづくりが町と町民にとって有益となるように取り組んでまいります。

今後の畑地かんがい事業について

ふくだ じゅんいち 福田 淳一 議員



福田議員の一般質問がYouTubeで視聴できます。(50分50秒から)

8月以降も暑さが厳しい予報が続き、水は欠かせません。対策を講じて乗り切りましょう。

今後の畑地かんがい事業拡充計画の考えは

町長 気候変動に対処できる仕組みを考えたい

問 畑地かんがい事業は、大空町全域で利用できる事業拡充計画の考えがあるのか伺う。また、古梅ダムの利用状況について伺う。

町長 異常気象が増加し、干ばつなどが発生した際に、灌水でできる畑地かんがい施設は、機能を発揮しています。整備については、事業規模が大きく、事業費も管理費も高額となります。国営事業等で造成した老朽施設の更新計画はあるものの、町全域を対象とした拡充計画はありませんが、気候変動が進行している不安定な状況下において、地域要望が増加した場合、対策案を整理しています。

産業課 畑地かんがい整備は、用水を供給している地域は、大成、大東、中央、巴沢の一部で、これ以外の地域は、未整備である状況です。3地区に分割して対策案を説明します。

現在古梅ダム受益面積は3,156ha、大空町は1,937ha、61%を占め、残りは美幌町が使用しています。開発局において、平成30年度から令和2年度まで、地域整備方向検討調査を実施しました。結果、古梅ダムに余剰水があることが分かり、540haの水を、新規取得することが可能と試算され、平成30年度には、聞き取り調査を実施し、大空町で704ha、美幌町で622haの整備要望があります。

本郷、住吉、豊里地域の面積のうち、2割は水田での水利権取得、8割が畑での水利権を取得しています。そのため整備、備品購入を行えば、灌水を行える地域です。女満別南部2地区で、リールマシンの一部を更新して古いリールマシンを低台地域へ貸出しを進めています。令和10年度までに要望者へ順次貸出しを進めています。給水栓等を整備していくための、道営事業には、水田活用の

直接支払い交付金による畑地化が進むことで農業形態が大きく変わるから、個人の面積を優先するの、広域的な観点から畑地かんがい施設整備を優先するのか、地域の方向性や要望に沿って、事業メニューを要望していく考えです。

東藻琴地区は、清里町にある緑ダムを水源とした用水供給案です。大進地区まで管路が来ていますが、既設管で排水可能なか、入れ替えが必要なのか調査が必要になり、地域整備方向検討調査を要請していく考えです。

問 農業を守る意味からも新しい視点を取り入れ、JAや、若い職員などの発想を必要と考え取り進めていただきたい。今後新規受益者となるには、どれくらいかかるのか伺う。



畑に灌水する様子

町長 古梅ダムの、余水が540ha、要望した面積が、超えている状況にあり、干ばつを経験した農業者は、要望が増える想定されます。受益を受けるためには、地域の意向を取りまとめ、国営事業の調整が難しく、簡単に受益者を増やせないと考えています。灌水をしたいという農業者の要望は、大きな声となつてきていますので、大空町と美幌地域の農業を持続させていくために、両町連携を図り、開発局とも連携し、最善の方策を見いだしたいと考えています。

した。当町は、令和3年度から、開発局へ地区調査の実施を要望しましたが、ダムの国営造成施設を管理している美幌町から、施設の老朽化に合わせ、整備を行うことが妥当であるとの意見から、地区調査は一旦休止となつていますが、近年の急激な気候変動を踏まえ、調査を行い、開発局に地区調査実施を求め、対策案として考えています。

問 畑地かんがい事業は、大空町全域で利用できる事業拡充計画の考えがあるのか伺う。また、古梅ダムの利用状況について伺う。

町長 異常気象が増加し、干ばつなどが発生した際に、灌水でできる畑地かんがい施設は、機能を発揮しています。整備については、事業規模が大きく、事業費も管理費も高額となります。国営事業等で造成した老朽施設の更新計画はあるものの、町全域を対象とした拡充計画はありませんが、気候変動が進行している不安定な状況下において、地域要望が増加した場合、対策案を整理しています。

産業課 畑地かんがい整備は、用水を供給している地域は、大成、大東、中央、巴沢の一部で、これ以外の地域は、未整備である状況です。3地区に分割して対策案を説明します。

現在古梅ダム受益面積は3,156ha、大空町は1,937ha、61%を占め、残りは美幌町が使用しています。開発局において、平成30年度から令和2年度まで、地域整備方向検討調査を実施しました。結果、古梅ダムに余剰水があることが分かり、540haの水を、新規取得することが可能と試算され、平成30年度には、聞き取り調査を実施し、大空町で704ha、美幌町で622haの整備要望があります。

本郷、住吉、豊里地域の面積のうち、2割は水田での水利権取得、8割が畑での水利権を取得しています。そのため整備、備品購入を行えば、灌水を行える地域です。女満別南部2地区で、リールマシンの一部を更新して古いリールマシンを低台地域へ貸出しを進めています。令和10年度までに要望者へ順次貸出しを進めています。給水栓等を整備していくための、道営事業には、水田活用の

業務量に対して報酬は少ないのでは？ 農業委員会会長 ▼ 近隣市町村や実情等踏まえ検討していきたい

議員として知っていて当たり前。町民の方々は、関係者が知っている。皆で知ろう農業委員会のこと。

農業委員会の活動について



おおいずみ ともりのり
大泉 知功 議員



大泉議員の一般質問がYouTubeで視聴できます。(36分15秒から)

問 農業委員会はそのような活動を行っているか、現在両地区何名でしょうか。

農業委員会会長 任期は3年間、令和8年7月19日までの任期です。業務は、農業及び農業者の代表機関として、主に農地等の確保、農地の利用調整、農地の集積などを担うほか、農家住宅や農業用倉庫などを建設する際の農地転用に係る現地確認、その農地転用申請に関する許可などを行います。このような、毎月農業委員会総会を開催し、農業委員会全体による審議及び承認を行っています。また、8月には農業委員会による大空町領域農地の全体に対して、耕作状況などを確認する農地パトロールも実施しております。また、

農業委員会に関する法律第38条の規定に基づき、農業及び農業者の意見を集約し、農業関係機関の農業関係施策の改善及び推進に関する各種項目について、必要があれば市町村長に対し、また、国や道に対しても意見や要望などの提出も行っていきます。定数は、条例に基づき、24名です。委員構成は、女満別地区14名、東藻琴地区10名です。うち女性委員は両地区1名ずつ、利害関係のない中立委員は、女満別地区1名の委員構成です。

問 他町村に比べると報酬はどのようになっているのか伺う。

農業委員会会長 大空町農業委員会委員報酬は、大空町特別職公務員の報酬及び費用弁償条例第2条にて規定され、これに基づき支給されます。

報酬額は、月額2万8,250円、会長職は、月額3万9,500円、職務代理者は、月額3万1,750円です。オホーツク管内他町村農業委員報酬額は、おおむね月額2万4,000円から3万2,000円程度の範囲です。大空町は、上から5番目の報酬です。

問 例えば月額報酬に加えて、活動に都度出られた際に、日当という考えもあるが、適正な報酬の支給を検討してはどうか。

農業委員会会長 大空町は、管内比較的農地面積が広く、また、例年の農地に関する権利設定などの件数も比較的多く、農業委員の人数が、他町村よりは多いという現状です。それぞれの担当委員につきましても、あっせん調整、

現地確認調査、あっせん会の開催、また、出し手や受け手の調整、さらには価格決定など、多くの農地に関する業務が発生しているのが実情です。しかしながら、例年の業務処理件数の実績を見ますと、平年並みで推移しているという部分もあり、件数の急激な増加は、今のところないという状況です。ですが、来年度から法令改正により、各市町村において、地域計画策定に伴う目標地図の作成、全国的に農業委員会における業務内容の変更、特に利用集積計画に伴う調整業務について、大きく仕組みが変わっていくという見込みもあることから、農業委員の業務についても、大きな変化が生じる可能性はあるのではないかと予想しています。

報酬の審議は、現在の委員業務の実情を踏まえながら、特別職報酬等審議会の際にて、審議決定されることから、今後も近隣自治体の状況、委員配置や、地区別の業務量などを踏まえ、委員会内部にて、併せて今後とも協議などを行いたいと思います。



農地転用の現地確認をする農業委員

北海道町村議会議員研修会に参加しました

7月2日、札幌コンベンションセンターで北海道町村議会議員研修会が開催されました。気象予報士 森 朗 氏による「札幌が東京より暑くなる!? ～加速する気候変動～」、元衆議院議長 大島 理森 氏による「人口減少と市町村の重要性・民主主義について自省を含めての所感」を演目とした講演があり、議員10名が参加し、受講しました。



もり あきら
森 朗 氏



おshima ただもり
大島 理森 氏

北海道町村議会議長会自治功労賞

松岡 克美 議員が町議会議員として25年以上在職、平田 義和 前議会事務局長が議会事務局職員として7年以上勤続し、北海道町村議会議長会より自治功労賞を受賞しました。



まつおか かつみ
松岡 克美 議員



ひらた よしかず
平田 義和 前議会事務局長

三條幸夫議員が急逝

～しめやかに議員会葬を執行～



去る8月16日、三條 幸夫 議員が入院加療先の北見赤十字病院において急逝されました。74歳でした。故三條議員は、平成30年4月に初当選以来、2期6年4ヶ月にわたり議会議員として町政の進展と議会活動に努めてこられました。この間、総務厚生常任委員（平成30年～令和4年）、同委員長（令和4年～）、議会広報常任委員（平成30年～令和4年）、網走地区消防組合議会議員（令和4年～）など多数の公職を務められました。8月19日、大空町議会議員会葬が執り行われ、町内外からの多数の参会者が故人を偲びご冥福をお祈りしました。

まちの将来を見据えて

～総務厚生・産業建設文教 両常任委員会で「所管事務調査」を実施しました～

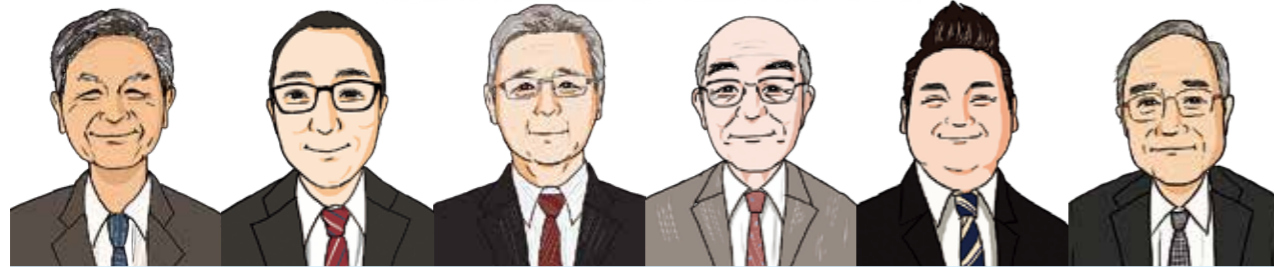


「所管事務調査」を実施しました

7月19日に産業建設文教常任委員会、8月1日に総務厚生常任委員会が、それぞれ所管する事務の中から今チェックすべき施設等を調査しました。その内容について、主なものをお知らせいたします。

Q 所管事務調査とは？ 議会が自主的に常任委員会で所管する事務を取り上げ、積極的に調査するもの。委員の認識や理解を深め、専門的審査を高めるために行います。

総務厚生常任委員会



鈴木委員 上地委員 三條委員長 岩原副委員長 大泉委員 原本議長

産業建設文教常任委員会



森賀委員 齋藤委員 松岡委員 後藤委員長 川村副委員長 福田委員 原本議長



女満別福祉会

① 社会福祉法人女満別福祉会の現状について

・平成6年に開設し今日まで特別養護老人ホーム女満別ドリーム苑、短期入所生活介護、訪問介護、通所介護、居宅介護支援、生活支援ハウスなどの各サービスを提供しており、地域福祉の中核を担ってきたが、介護報酬の改定や物価高騰、人材不足、最低賃金の上昇により、基金を崩したりするなど大変苦しい経営が続いている。
・施設も老朽化しており、令和7年に大規模改修を計画したいが、経営的に厳しい状況であり、改修時期、内容を早期に検討していくとの説明を受けた。



認定子ども園めまんべつ

② 大空町認定子ども園（めまんべつ・ひがしもこと）について

・女満別は認可定員105名に対し、入園児数121名と認可定員より多くなっている。認可定員の120%までは超えることができることとなっている。
・東藻琴は認可定員60名に対し、入園児数43名と認可定員より少ないという状況。出生数も減少傾向にあり、今後、運営方法について検討が必要との説明を受けた。
・木のぬくもりが感じられる園舎で、園児たちが安心して保育、教育を受ける環境が整っていると感じた。



東藻琴福祉会

③ 社会福祉法人東藻琴福祉会の現状について

・平成4年に開設し今日まで特別養護老人ホーム東藻琴福寿苑、短期入所生活介護、訪問介護、通所介護、高齢者生活支援ハウス悠久の里、指定共同生活援助・基準該当多機能型・相談支援事業所ちあひる、東藻琴老人福祉センター指定管理などの各サービスを提供しており、地域福祉の中核を担ってきたが、今年度より障害者福祉の一部のサービスについては社会福祉協議会に移譲されている。
・介護報酬、障害報酬の改定や物価高騰、人材不足、最低賃金の上昇により大変苦しい経営が続いているとの説明を受けた。



一般廃棄物最終処分場

④ 一般廃棄物最終処分場の施設状況について

・処分場では、破砕機処理や再分別で埋め立て量の低量化に努め、埋め立て可能期間の延長を図っており、令和3年から6年までの3か年平均の埋立量実績から令和6年5月現在での埋め立て可能期間は、15年との説明を受けた。
・最終処分場の埋め立て可能期間の延長には、今後も家庭等でのごみの分別徹底による搬入量の低減が欠かせないことを再認識した。
・処分場に持ち込まれた流木や剪定木や風倒木の住民への無償配布が好評で処分場の延命に寄与しているとの説明を受けた。
・処分場からの浸出水処理は、微生物処理、薬品処理、砂ろ過、活性炭ろ過し、水質検査後放流されており、適切に管理しているとの説明を受けた。
・旧最終処分場からは、メタンガス等が継続して出ており、引き続き適切に管理していくとの説明を受けた。



東藻琴芝桜公園

① 東藻琴芝桜公園について

・令和5年7月13日の大雨により大駐車場と法面が崩落する被害が発生したが、復旧工事により排水設備法面の機能が回復し、また、隣接する農地との取付道路に土砂流出防止ゴム板を設置、畦畔の新設及び側溝の遮水工を整備するなど今後の大雨による被害を未然に防ぐ取り組みが確認できた。
・芝桜活性化対策補助金（300万円/年）により芝桜の苗の購入、液肥の散布、肥料の購入等に係る経費を交付しているが、芝桜を植え替えた箇所は良い状態であることが確認できた。
・芝桜公園大規模改修基本構想については、令和5年度に作成委託された。また、令和6年度の基本計画については、令和6年6月25日にプロポーザルを実施した。基本計画については、費用対効果を意識するとともに、計画がまとまった際には当委員会に報告して欲しいとの意見が委員より出た。



大空高校交流拠点施設

② 大空高等学校交流拠点施設 増築工事の進捗状況について

・予定通り増築工事が進められていることが確認できた。
・増築工事の契約金額は、188,650,000円であるが、補助等の活用を検討し、起債の申請を行っていることが確認できた。



水道施設遠方監視装置

③ 昭和浄水場 水道施設遠方監視装置について

・女満別本町地区（市街・湖南・低台）の監視装置の故障に伴う修繕が適切に行われていることが確認できた。
・本町地区の監視装置は、平成15年に導入され21年経過しており、ハードディスク等の構成部品の劣化や老朽化が進んでいるが、他の地区においても年数が経過しており、現在の監視装置を継続的に運用していくため、故障に備えた予備部品の確保に努めるとの説明を受けた。
・現在、有機フッ素化合物（PFAS）の飲用水への影響について注目されているが、大空町の飲用水では検出されていない事の報告を受けた。



女満別図書館

④ 女満別図書館について

・7月下旬にエアコン設置予定の2階多目的ホールを確認した。
・図書館の運営については、一般財団法人 大空町青少年育成協会に指定管理されているが、利用者から接遇が良いとの評価を受けているとの報告を受けた。
・当該施設と女満別地区の人口と同規模の他町村の施設における図書スペース（延床面積）を比較すると、本町の方が面積的に小さく、展示・貸し出しスペースが足りていない現状を確認した。
・防犯カメラが7台設置されていることを確認した。
・令和4年度に大規模改修工事（65,003,400円）が行われ、図書館及び駅利用者の利便性向上、また、外壁工事などで外観も良くなり長寿命化が図られていることが確認できた。

Voice 声 町民の



当たり前の毎日を守るために

もり 森 竜太 さん
JAオホーツク網走青年部部长

私は大空町東藻琴で生まれ育ち、家業である農業の後継者となり、現在は妻と男の子3人と毎日楽しく暮らしています。就農してすぐにJA青年部に入り、仲間たちとの楽しい活動を通じて、令和6年度にJAオホーツク網走青年部の部長に就任いたしました。

大空町は農業が基幹産業であり、多くの農業従事者が暮らしていますが、毎年のように農作業事故が発生しています。農業は家族労働が基本である為、農作業事故が起きてしまったら大切な家族が被害者や加害者になる可能性があります。繁忙期の疲れや作業中のちょっとした油断から事故が起き、大切な

● 家族や仲間たちに悲しい思いをさせてしまうかもしれません。そんな悲しいことが起きてしまわない様に農業に従事される皆様には、ぜひ安全作業の大切さを自分事として考えていただきたいです。

● 食糧を守る私たち生産者が毎日安全に作業を終えて笑顔で家に帰ることが、消費者である大空町民皆様の当たり前の毎日を守ることに繋がります。

● これから、大空町がより発展する為に、町として農作業安全についての取り組みに力を入れていただきたいと思います。

なつかしの校舎



女満別 日進小学校

日進小学校は、大正10年「南藻琴尋常小学校知恵府教授所」として児童数47名で開校。

初代教員は、吉田 礼文氏でした。

日進地区は、当時「チエプサップモコト」と呼ばれていました。女満別としての開拓の歴史では最も新しく、開拓は沢伝いに進められました。

校歌には、「藻琴や阿寒を眺めつつ 元気に励む良い子たち 緑の丘に木の香も高く 仲良し我等の日進小学校」と詠われています。自然環境が厳しく子供たちの通学環境改善に向け学校づくりに力を合わせた地域の絆が思い起こされます。

昭和3年に知恵府尋常小学校として独立。昭和11年に町内の字名改正で日進尋常小学校と改称、昭和22年日進小学校になりました。

児童数が89名を越す時期もありましたが、農家戸数の減少等による児童数減少に伴い昭和51年に女満別小学校へ統合になりました。卒業児童数は、458名でした。

※参考文献：女満別町史、女満別小学校の歩み80年・統合20周年記念誌

MARUMO ONSEN
東藻琴
小茂
旧楠目温泉がリニューアル！
料金
大人：450円
小人：200円
営業時間
11:00～20:00
大空町東藻琴 59-4
TEL 0152-67-4522
マルモ温泉

※民間企業からの有料広告を掲載しています。

編集後記

各常任委員会の中で1番会議の回数が多いのではないかな？と思う議会広報常任委員会。3ヶ月に1度発行する議会広報を作成します。5人の様々な意見が交差し、よりよく読まれますように、読みやすく、わかりやすく心がけています。誤字脱字を見つけたら、掲載する写真取材に行ったり、活動は盛んです。これからも、こうしたら良い等のお話を寄せていただけたら幸いです。毎号進化していると考えてやっていますが、町民の皆さんはどうですか？読みやすいですか？

(大泉)

議会広報常任委員会

私たちが編集しました

議長 原本哲己(発行責任者)
委員長 鈴木秀之
副委員長 上地史隆
委員 森賀祐司
委員 福田淳一
委員 大泉知功

今後ともよろしくお願いたします。



本紙は、見やすさや読みやすさを配慮したユニバーサルデザインフォントを採用しています。

議会だより「おおぞら」
第73号

発行/大空町議会
編集/議会広報常任委員会
印刷/株式会社須田製版

住所/〒099-2392 北海道網走郡大空町女満別西3条4丁目1番1号
TEL(0152)77-8106 FAX(0152)74-2191
ホームページ http://www.town.ozora.hokkaido.jp

